

1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	05	事業名	高津区放置自転車対策事業		
事業所管課	道路公園センター管理課			担当者	山口	連絡先	044-833-1221
関係局(局区連携事業は記載)				建設緑政局自転車対策室			

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	区内における鉄道駅を中心に放置自転車をなくし、安心して住みやすい環境整備を推進する必要がある。
事業概要	①駅周辺での駐輪場施設の確保及び撤去車収容のための保管所整備 ②新たな自転車等放置禁止区域指定(二子新地駅周辺)に向けた、駐輪場施設の確保。 ③自転車等放置禁止区域内の放置自転車の撤去(週4日、午前2回、午後1回づつ) ④整理誘導員により駐輪場への誘導を行なうとともに、広報活動も行う。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	764,000円	決算額	143,614円	不用額	620,386円
不用の理由	自転車等放置禁止区域の指定(二子新地駅周辺)が延期に伴い、ロードポップサイン等資材の購入が不要となったため。				
事業目標	自転車等放置禁止区域に指定されている5駅(溝口・梶ヶ谷・高津・久地。津田山)を中心に、放置自転車等の撤去活動や広報、啓発活動を行う。また、二子新地駅区域の指定を年内中に見通しをたて、より良い放置自転車等防止対策を実施する。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①駅周辺での駐輪場施設の確保及び撤去車収容のための保管所整備 ②新たな自転車等放置禁止区域指定(二子新地駅周辺)に向けた、駐輪場施設の確保。 ③自転車等放置禁止区域内の放置自転車の撤去(週4日、午前2回、午後1回づつ) ④整理誘導員により駐輪場への誘導を行なうとともに、広報活動も行う。				
事業目標を達成する上での課題等	駅周辺での駐輪場施設の確保及び撤去車収容のための保管所整備。				
実績	①放置自転車区域内の放置自転車の撤去を実施した(週4日、午前2回、午後1回づつ) (参考) H23.4~H23.12(自転車7,574台、バイク75台 計7,649台) H22.4~H22.12(自転車8,623台 バイク86台 計8,709台) ②整理誘導員により駐輪場への誘導を行なうとともに広報活動も行った。				
協働の視点	放置自転車対策には、鉄道事業者、地元商店街、地域住民など関係機関との協働が不可欠であり、今後も連携を密にして、放置自転車減少のための活動に取り組んでいく。				
環境配慮への視点	増加している放置自転車を撤去することにより、歩行者の安全や緊急自動車等の通行確保を目指している。				
取組の成果	整理誘導員の誘導や広報活動により、撤去した自転車数が昨年度に比較して、約1,000台減少し、区内における鉄道駅を中心に放置自転車が減少し、安心して住みやすい環境整備を推進した。				達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	区内における鉄道駅を中心に放置自転車の状況を把握し、安心して住みやすい環境整備を推進します。放置自転車区域内の放置自転車を週4日、午前2回、午後1回づつ撤去。更に、月1回休日撤去を実施することで、放置自転車対策の取組みを多角的に進めていく。引き続き、整理誘導員により駐輪場への誘導を行なうとともに普及広報活動も行います。また、放置自転車禁止区域指定を予定している「二子新地駅」周辺については、駐輪場の増設に向けて、関係機関と連携して取り組んでいく。

平成23年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	10	事業名	高津安全・安心まちづくり支援事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	青柳	連絡先	044-861-3147
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ●犯罪から身を守るため防犯意識を高めるよう啓発活動及び、区民による自主的な取組みへの支援を実施する。 ●区内で起こっている犯罪情報を迅速に情報提供する。 ●防犯関係機関との情報共有と連絡調整を密に行う。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯啓発活動として、警察と連携してキャンペーンを実施する。 ●交通安全に対する意識を高めるため、警察と連携をしてキャンペーンを実施する。 ●区民による自主的なパトロール活動である高津防犯パトロール隊(TBP)へ、ベスト等の活動用品の貸与を行う。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	755,000	決算額	748,109	不用額	6,891
不用の理由					
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ●区民が防犯意識を高めるような啓発活動を実施すること ●区内で起こっている犯罪情報を迅速に情報提供すること ●防犯関係機関との情報共有及び連絡調整をすること 				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●年2～3回程度の防犯キャンペーンの実施 ●高津防犯パトロール隊活動報告会の実施 ●TBPへのベスト等の活動用品の貸与 ●ホームページを利用した犯罪情報の提供 				
事業目標を達成する上での課題等	●犯罪を未然に防止し、安全で安心な高津区を築くため、継続的に事業を実施していく必要がある。				
実績	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯キャンペーンは9月に1回、12月に2回警察等と共同で実施した。 ●防犯パトロール隊活動報告会は、9月に約100名の参加者により開催した。 ●ホームページによる情報提供を毎週更新した。 ●継続的にTBPへの活動用品の貸与を実施した。 				
協働の視点	安全で安心なまち高津の実現という共通の目的のもと、活動用品の購入や貸与は区役所が行い、実際のパトロール活動は、TBPが行うなど、役割を分担し事業を行っている。				
環境配慮への視点	パトロール実施にあたり発生したゴミ等は、必ず持ち帰るように参加者へ呼びかけを行っている。				
取組の成果	協議会とともに支援を行ってきた結果、防犯意識が高まり防犯パトロール隊は、前年度より1団体増え、現在までに99隊に増加し、区民の自主的な取組みが広がっている。また、活動報告会や合同パトロールには数多くの隊員が参加し、互いの隊の連携や情報の共有化を図ることができた。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	パトロール隊に活動用品の貸与を行うなど団体の支援を継続して実施していく。また、隊相互の連携と情報の共有化を図るため、活動報告会や合同パトロールを引き続き実施する。さらに、ホームページの防犯情報を活用し、地域に情報提供を行う。

1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	15	事業名	交通安全の普及啓発事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	青柳	連絡先	044-861-3147
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ●新入学児童は、交通ルールに慣れていないため、交通事故にあう危険性があり、交通事故防止の対策が必要である。 ●交通事故減少のために継続的な広報が求められている。 ●交通事故防止は普段の心がけが必要となり、日ごろから交通安全の意識を高める必要がある。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●区民の交通安全意識が高まるよう啓発活動を継続的に実施する。 ●各交通安全団体で連携し、効果的な活動を実施する。 ●新入学児童に交通安全の啓発活動を行う。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	396,000	決算額	374,325	不用額	21,675
不用の理由	契約差金				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ●区民の交通安全意識を高める。 ●各交通安全団体で連携し、効果的な活動を実施する。 ●新入学児童の交通安全意識を高める。 				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月、各地区にて監視所を設置し、歩行者や通過車両に交通安全を訴え、交通事故死ゼロを目指す日キャンペーンを実施し、交通事故防止を広く呼びかける。 ●区内の各小学校において、入学式に出席する親子に各交通安全団体と連携し、啓発物を配布して、交通安全を訴える。 				
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●交通事故減少のためには、継続的な広報が必要である。 ●交通事故防止は普段の心がけが必要なので、日ごろから交通安全意識を高める必要がある。 				
実績	<ul style="list-style-type: none"> ●新入学児童への啓発活動として、高津区交通安全対策協議会の構成団体との協力・連携のもと、入学式に出席する親子に啓発物・チラシの配布を行うとともに、交通安全について呼びかけを行った。 ●4月から12月まで毎月街頭監視を行い、通行人に啓発品を配布しながら交通安全を訴えた。また、春夏秋冬の各期に交通安全関係機関と連携し、駅前においてキャンペーンを実施した。 				
協働の視点	啓発品の調達や関係機関との連絡調整は区役所が行い、キャンペーン活動は交通安全各団体員が行うなど、役割を分担し事業を行った。				
環境配慮への視点	交通安全キャンペーン実施にあたり発生したゴミ等は、必ず持ち帰るように参加者へ呼びかけを行っている。				
取組の成果	すべてのキャンペーン、街頭監視において関係機関の長や構成員の多数の参加があり効果的に交通安全の啓発を実施することができた。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	今後も交通事故ゼロを目指し、より効果的なキャンペーンになるように検討し、引き続き実施していく。 また、小学校・保育園での交通安全教室においても、交通安全啓発のキャンペーンを活用し、教職員、ボランティア父兄等とともに、児童だけでなく地域も交通安全の意識を高めるように進めていく。

1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	20	事業名	地域防災力向上事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	柿木	連絡先	044-861-3146
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	震災等の災害に備えるために、地域住民一人一人に防災知識を普及させ、地域の防災力の向上を図ることが求められている。
事業概要	地域住民一人一人の意識啓発を図り、地域の防災力の向上のため、区内の小中学校等にて防災出前講座及び避難所運営会議を実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,489,000	決算額	1,166,319	不用額	322,681
不用の理由					
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ●防災出前講座(7回)実施。 ●避難所運営会議の実施。 				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所運営会議を構成する町内会、自治会及び小中学校を日程などを調整し会議を開催する。また、各構成団体に対して、各避難所の鍵を配布する。 ●専門講師の派遣による防災出前講座を実施する。 				
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所運営会議は複数の町内会・自治会や関係機関で構成されており、連絡調整に多くの時間と労力を要する。 ●出前講座を開催するための区内自主防災組織の選定や会場設定等の連絡調整に労力を要する。 				
実績	<p>【委託先：(財)市民防災研究所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新規に避難所運営会議を7箇所立ち上げ、防災出前講座未実施校で同講座を7回実施した。さらに、新たに活動を始めた7つの運営会議の構成団体に対し、各避難所の校門、体育館の鍵を貸与した。 ●区役所本部機能強化の一つとして、職員が災害時に十分な活動ができる環境整備を行うため、職員用毛布、水、食料の備蓄を7区役所内で先駆的に行った。 				
協働の視点	適正な役割分担のもと、会議の運営に際しては住民が中心になって行い区は最小限の係りになるようにし、最終的には自主運営できるよう助言している。				
環境配慮への視点	避難所運営会議に使用する資料の用紙はすべて再生紙のものに限定している。				
取組の成果	計画通り、避難所運営会議等を7箇所立ち上げ、その内、避難所の設営訓練も3箇所で行い、着実にネットワーク構築を進めることができた。また、出前講座は目標通り7箇所で行った。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	防災出前講座については、未実施校9箇所すべてにおいて24年度中に実施する。25年度以降は、自主防災組織未加入団体に対し講座を行い、組織化、加入の促進を目指していく。また、避難所運営会議は、引き続き新規立ち上げを行っていき、22箇所すべての完成を目指す。併せてネットワーク会議も順次開催をしていく。

1 基本情報

予算中事業コード	05	予算小事業コード	25	事業名	障害者・高齢者等災害時要援護者支援のための防災対策事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	柿木	連絡先	044-861-3146
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	災害時における要援護者支援については、具体的な取組みの事例が少ないため、検討が必要である。さらに、災害時要援護者に対する支援に関する取組を通じて、地域防災へのあり方を探り要援護者への理解促進が求められている。
事業概要	養護学校・地域団体・行政との協働による防災シュミレーション訓練やボランティア養成講座を開催し、地域防災のあり方などを検討するとともに災害時要援護者に対する地域での理解を深める。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	679,000	決算額	679,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	高齢者・障がい者の視点に立った内容での防災訓練や講座を開催し、災害時要援護者に対する地域での理解を深める。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	地域ネットワーク推進会議への業務委託により、地域において防災シュミレーション訓練やボランティア養成講座などを開催する。				
事業目標を達成する上での課題等	地域住民へ、いざというときに支援を必要としている人が身近な周囲に存在するという認識を共有させることが重要であり、新たな参加者を募ることが課題である。				
実績	【委託先】地域ネットワーク推進会議 高齢者や要援護者に対応するボランティア養成講座を1回実施した。また、障がい者の保護者・支援者向け防災学習会を4回実施し、さらに、高齢者及び知的障害者対応を想定した避難所設営のための訓練(防災シュミレーション訓練)を1回実施した。				
協働の視点	防災シュミレーション訓練で使用する用具は、区役所が用意し、訓練そのものは地域住民が高津養護学校に協力して行うなど役割を分担し事業を行っている。				
環境配慮への視点	ボランティア養成講座で使用する資料は、全て再生紙を使用し、防災シュミレーション訓練で発生したゴミは、参加者に持ち帰っていただいた。				
取組の成果	養護学校・地域団体・行政との協働により、ボランティア養成講座や防災シュミレーション訓練を行ったことで、地域に災害時要援護者の理解促進を進めることができた。 また、防災カレンダーを2,750部作成し、障害者団体や町内会等へ配布していく。				達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	引き続き地域推進ネットワーク会議に対し業務委託することにより、ボランティア養成講座や防災シュミレーション訓練などを開催する。講座や訓練を開催する時には、チラシの配布や町内会への呼び掛けを行っているが、今後さらに参加者が増えるよう、広報を力を入れていく。